



第10回 日本植物学会 男女共同参画 ランチョンセミナー

9月16日(月)12:15~13:15 A会場

# じつは強力、博士号！ ～目からウロコのキャリアパス～



植物学会会長挨拶 三村 徹郎(神戸大学・大学院理学研究科・教授)

博士号取得者の昨今の就職事情

日原 由香子 (埼玉大学・大学院理工学研究科・教授)

## パネルディスカッション 「私たちのキャリアパス」

パネリスト:

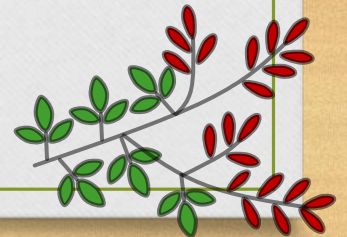
石崎 公庸 (神戸大学・大学院理学研究科・准教授)

梅村 佳美 (横浜市立大学・木原生物学研究所・リサーチアドミニストレーター)

桑原 明日香 (JST・研究開発戦略センター(CRDS)・フェロー)

西窪 伸之 (王子木材緑化株式会社・木材事業企画部・副部長)

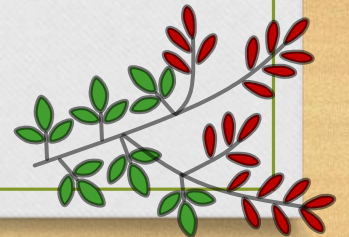
司会：井川 智子 (千葉大学・大学院園芸学研究科・准教授)



# 植物学会会長挨拶

三村 徹郎

(神戸大学・大学院理学研究科・教授)

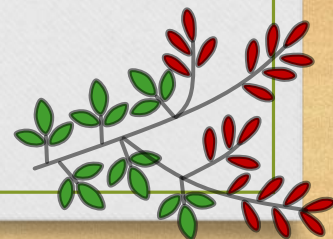




# 博士号取得者の昨今の就職事情

日原 由香子

日本植物学会男女共同参画委員会委員長  
(埼玉大学大学院・理工学研究科・教授)



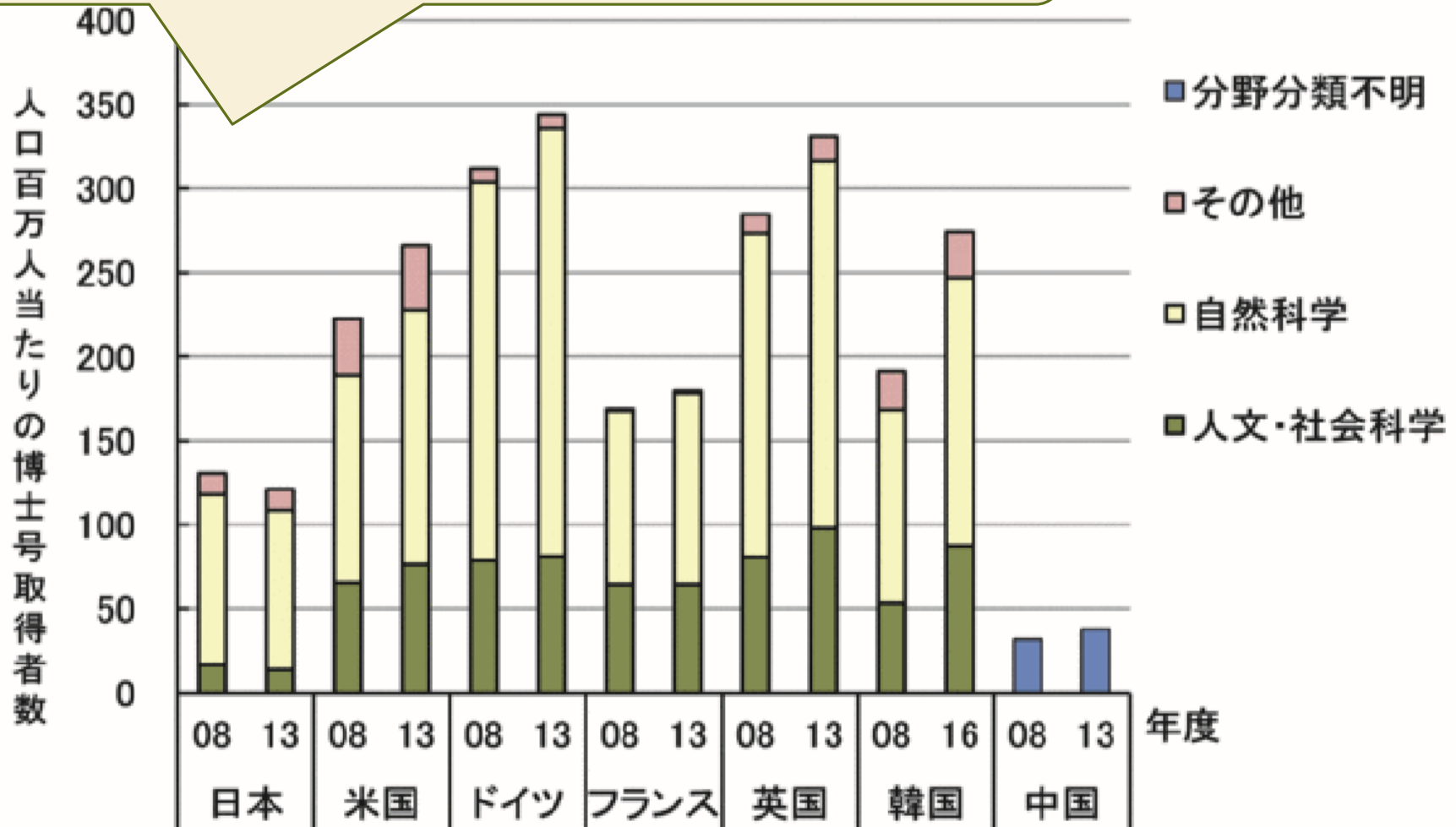
# ランチョンセミナー企画の推移

回	年	タイトル	テーマ
第1回	2010	◇男女共同参画、世界の中の日本 ◇学内学童保育所の作り方	男女共同参画
第2回	2011	男女共同参画への取り組み～大学の現状に学ぶ～	男女共同参画
第3回	2012	～イクメン過去現在未来～	育児
第4回	2013	研究者流タイム・マネージメントを考える	タイムマネージメント・育児
第5回	2014	Living and Working Together ～若手研究者が直面する壁とその打開策～	キャリアパス
第6回	2015	「イクボス」ってご存じですか？ ～研究と育児を両立する若手研究者を雇用する PIの意識改革は必要か？～	育児
第7回	2016	裁量労働制を活用した柔軟な研究と育児の両立に向けて ～研究と育児の両立・研究者だからこそそのアプローチ～	育児
第8回	2017	パパ育休とったよ ～男性研究者の育休ライフ～	育児
第9回	2018	あなたも、明日にも直面するかも、介護の問題	介護
第10回	2019	じつは強力、博士号！ ～目からウロコのキャリアパス～	キャリアパス

# 博士号取得者数の国際比較（2016）

文部科学省「科学技術指標2017」、OECD統計  
JST/CRDS報告書「研究力強化のための大学・国研における研究システムの国際ベンチマーク」より

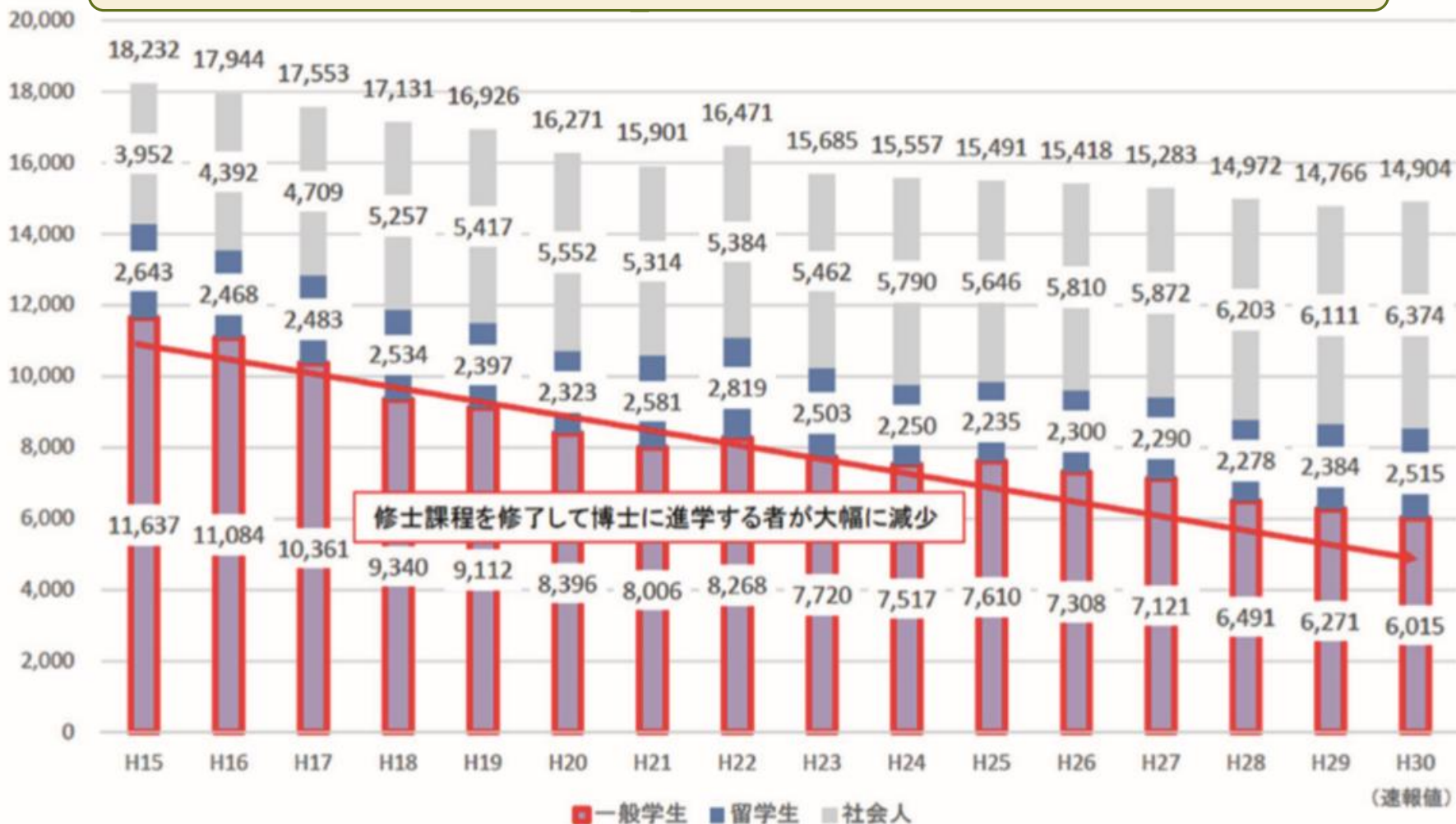
諸外国に比べて人口あたりの博士号取得者数が少ない上、  
日本のみ減少傾向が見られる



# 博士課程入学者数の推移

文部科学省「中教審大学分科会大学院部会資料」  
JST/CRDS報告書「研究力強化のための大学・国研における研究システムの国際ベンチマーク」より

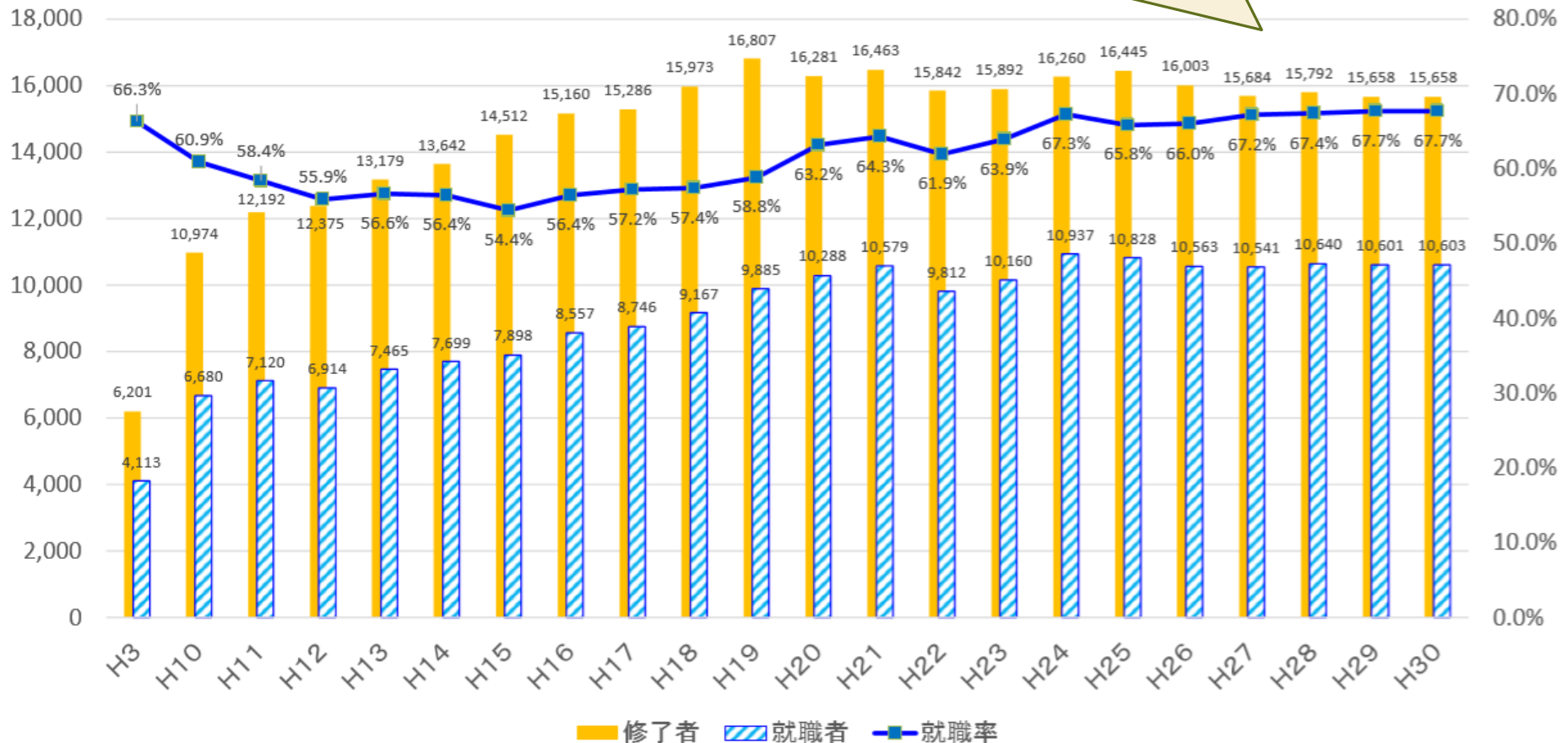
一般学生の博士課程入学者数はH15の約1.2万人をピークとして年々低下



# 博士課程修了者数及び就職者数の推移(全体)

文部科学省「学校基本調査」

博士修了後に就職するのは2/3程度

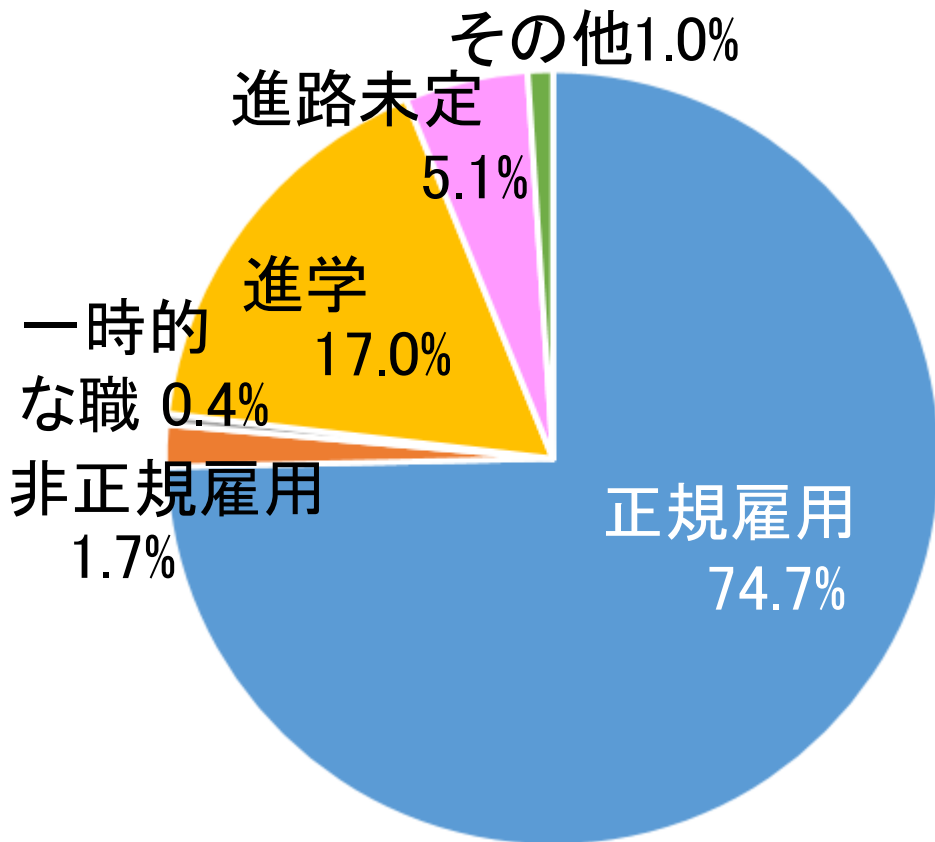




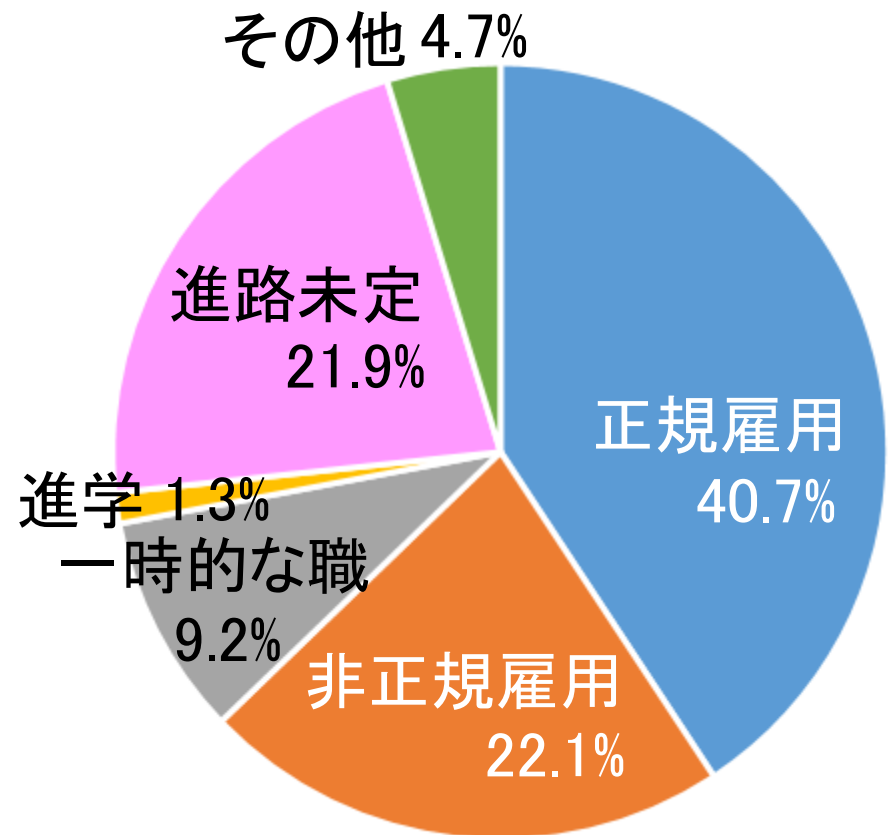
# 平成30年3月卒業者の進路(%)

文部科学省「学校基本調査」(平成30年度)

## 修士(理学) 6034名



## 博士(理学) 1331名

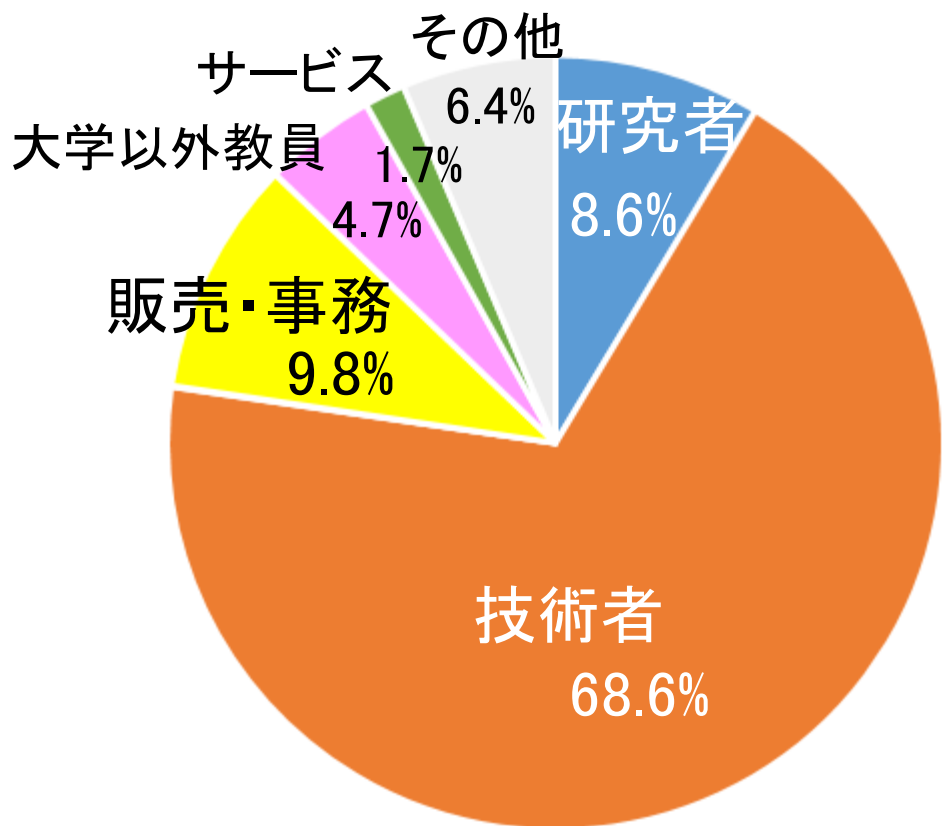




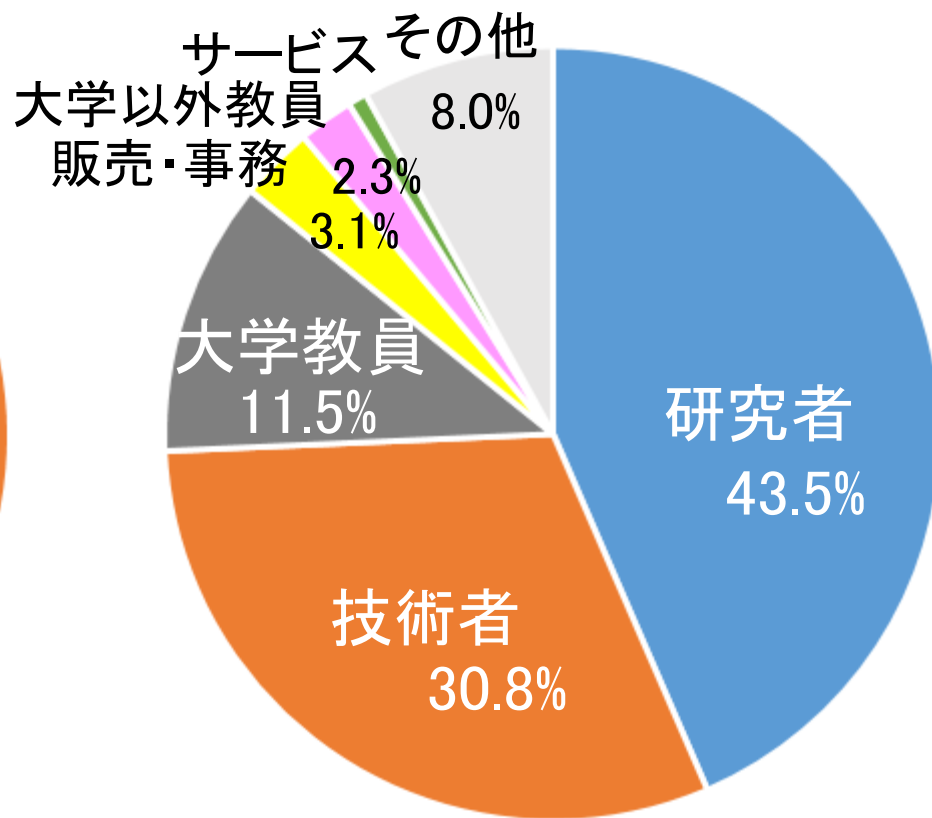
# 平成30年3月卒業者の職業別就職先(%)

文部科学省「学校基本調査」(平成30年度)

## 修士(理学)4611名



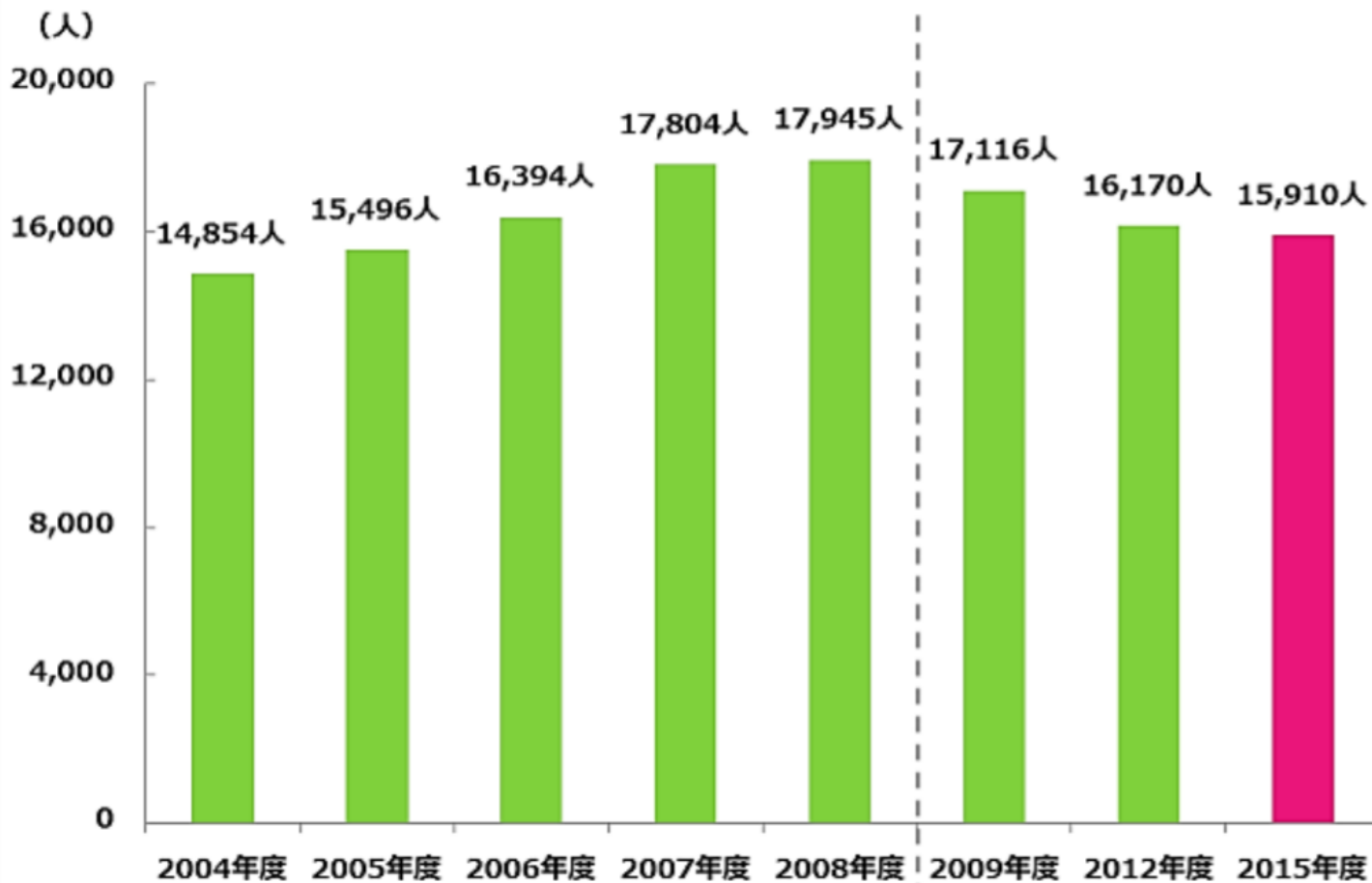
## 博士(理学)837名



# ポストドクターの延べ人数

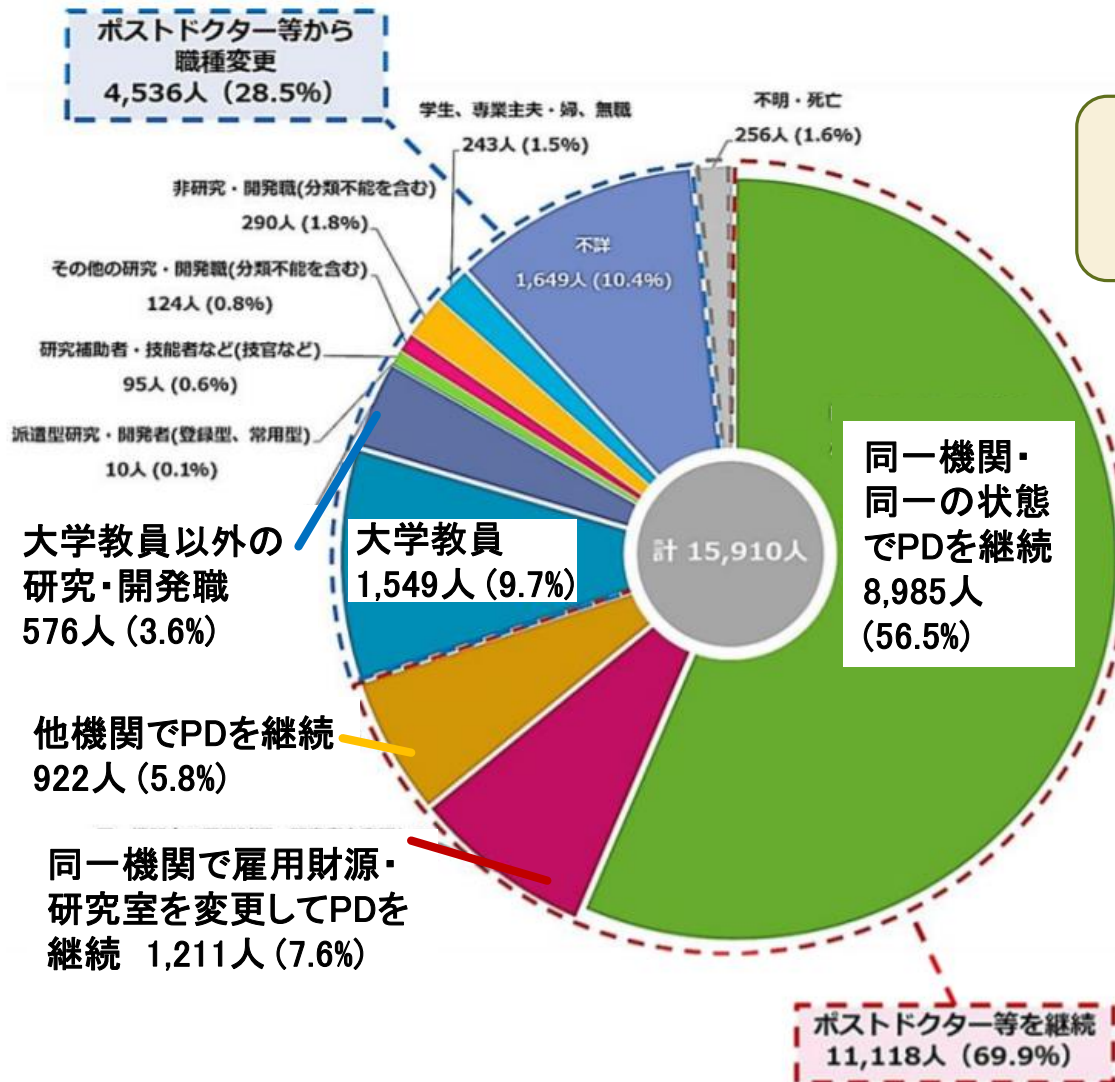
文部科学省「ポストドクター等の雇用・進路に関する調査」(2015年度)

毎年、博士課程卒業者の約1割がポストドクへの道へ進む  
ポストドクの平均年齢は 36.3歳 (2015年度)



# 2015年度にポストドクター等であった者の 2016年4月1日における就業状況

文部科学省「ポストドクター等の雇用・進路に関する調査」(2015年度)



70%がポスドクを継続  
大学への就職は10%以下

同一機関・  
同一の状態  
でPDを継続  
8,985人  
(56.5%)

ポストドクター等を継続  
11,118人 (69.9%)

# 博士号取得後のキャリアパスの充実が 博士課程進学者を増やし、日本の科学力の回復につながる

## アカデミックポストの充実

若手向け任期なしポストの拡充促進、  
テニュアトラック制の導入促進、大学の若手本務教員の1割増など


第5期科学技術基本計画（平成28～32年度）

## 若手向け研究資金の充実

科研費 若手研究の新規採択率は  
30.7%（平成30年度）から 40.0%（令和元年度）に大幅アップ

## アカデミア外のキャリアパスの充実

「目からウロコのキャリアパス」？

 本パネルディスカッションに乞うご期待！



# パネルディスカッション 「私たちのキャリアパス」

## パネリスト

**石崎 公庸** (神戸大学大学院・理学研究科・准教授)

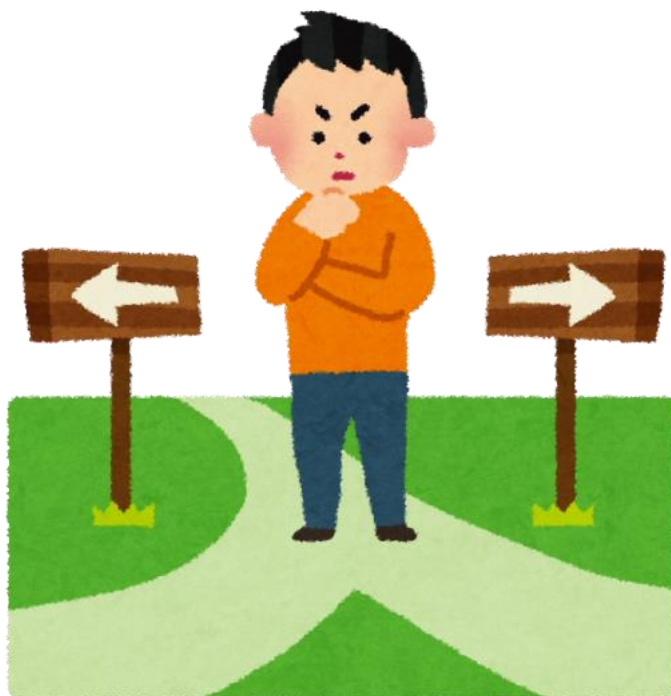
**梅村 佳美** (横浜市立大学・木原生物学研究所・リサーチアドミニストレーター)

**桑原 明日香** (JST・研究開発戦略センター(CRDS)・フェロー)

**西窪 伸之** (王子木材緑化株式会社・木材事業企画部・副部長)

**司会：井川 智子** (千葉大・院・園芸学研究科・准教授)

# 進路を選択したときの考え



どうやって職を探しましたか？








# 会場を交えた パネルディスカッション





## まとめ

### じつは強力、博士号！ ～目からウロコのキャリアパス～

-  博士後期課程で得られること: 自分で考える力(ブレイクスルー力)  
→どんなキャリアパスにも必ず役に立つ
-  やりたいことにチャレンジせよ  
→積極的な情報収集、コンタクト、人脈の利用
-  国内に限らず、海外で活躍の場を探すのも手段の一つ  
海外ラボ生活経験は自身の考え方を食べるほど大きな経験になり得る

研究開発に関わる政策立案に関わる博士号取得者も増えており、「日本では博士号取得者が職を探すのが難しい」という状況は改善されるだろう